八日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□區　　金十五錢
□廣告料一行　金六十錢
□特別廣告一行　金九十錢
□電話番號　平一七八六番
□振替口座東京一〇八一五五
□發行所　磐城毎日新聞社
□發行編輯兼印刷人　森合英

人間の外に神を見ずして人間の中に神を見るといふ日本精神には頭の下る思ひがする筈である（津久井龍雄）

闘魂井上

飽く迄も明朗なれ

高木稻水

吾人は平市長後任推薦協議會に於て市議諸公が滿場一致を以て猪瀬、金子藤井三氏をあげ、その交渉一切を交渉委員に一任した態度を以て時局認識の明朗さのあらはれとして衷心より慶賀の意を表したのである。

然るに六日の經過報告會を前にして甚だ愉快ならざる雜音を耳にし、心ある市民と共に眉をひそめて長大息し、六日の報告會の結果如何と多少不安の念を以て見守つてゐたのであつた。

所が雜音は全く單なる雜音であつて二市議より念には念ての説明と議員をしていふべきことを充分いはしめた態度で、終始和氣藹々歡談裡に「速かに推薦事務を開き正式推薦に墮せずに」と纏まつて行つた事は當然のことながら、市民の明堂として主張した市議の態度、その何れもが立派な態度である。要は自己の利益を强うせしめるものがあつた。

野崎議長の圓轉酒脱な態度、交渉委員諸氏の條理をつくしての説明と議員をしてこの仕事は國家的のものだ、日本最初の試みだから、よく目的地に到着することを主眼とせよと言はれ、貴い方の御耳にも入り、非常なお喜びをして居られるのだから、自重してゆる〳〵乘り切れと言はれた。私はこの時考へた。ゆる〳〵と乘り切る。靜岡市が大体コースの半分らしいから其處までは普通に行つて、その次西は相當の歩度によつて進むつもりで今まで居つたが、責任の重大さを思つて考直し無理はこの際やめようと思つた。東京には泊らず、品川より東海道にかゝる。この夜は川崎に宿る。

たが、在郷軍人會に行つたら稻垣中將は次のやうに言はれた。

この仕事は國家的のものだ、日本最初の試みだから、よく目的地に到着することを主眼とせよと言はれ、貴い方の御耳にも入り、非常なお喜びをして居られるのだから、自重してゆる〳〵乘り切れと言はれた。私はこの時考へた。ゆる〳〵と乘り切る。靜岡市が大体コースの半分らしいから其處までは普通に行つて、その次西は相當の歩度によつて進むつもりで今まで居つたが、責任の重大さを思つて考直し無理はこの際やめようと思つた。東京には泊らず、品川より東海道にかゝる。この夜は川崎に宿る。

なる雜音であつて二市議より念には念ての説明と議員をしていふべきことを充分いはしめた態度で、終始和氣藹々歡談裡に「速かに推薦事務を開き正式推薦に墮せずに」と纏まつて行つた事は當然のことながら、市民の明堂として主張した市議の態度、その何れもが立派な態度である。要は自己の利益を强うせしめるものがあつた。

野崎議長の圓轉酒脱な態度、交渉委員諸氏の條理をつくしての説明と議員をしてこの仕事は國家的のものだ、日本最初の試みだから、よく目的地に到着することを主眼とせよと言はれ、貴い方の御耳にも入り、非常なお喜びをして居られるのだから、自重してゆる〳〵乘り切れと言はれた。私はこの時考へた。ゆる〳〵と乘り切る。靜岡市が大体コースの半分らしいから其處までは普通に行つて、その次西は相當の歩度によつて進むつもりで今まで居つたが、責任の重大さを思つて考直し無理はこの際やめようと思つた。東京には泊らず、品川より東海道にかゝる。この夜は川崎に宿る。

原稿募集

本紙第一面の各種原稿を募集する奮つて御投稿下さい

踏破六百里

……櫛田彦之進氏による……

岩崎敏夫

（六）

宇都宮では、聯合分會長安藤砲兵大佐以下市役所聯隊區職員の出迎へを受けたが、大佐はつく〳〵私と馬とを見てゐたが、思はず大聲で大成功を確信すと叫び私を呆氣にとらせた。聞けば、君の決心は相貌に表はれてゐるこの人にしてこの馬だ確しかに成功すると思ふと言ふ。翌朝四時頃から神詣りだとつれて行かれたが、見れば國幣中社二荒山神社であつた。

埼玉、茨城、栃木三縣の鷄の聲も聞えると言はれる栗橋を通り、いよ〳〵第二の休養豫定地なる東京市西洗の大師前に宿泊する、此處で、東京市を通過出來るかどうかをしらべに出かける。實は福島の人々の言として、東京市を通るのは種々むづかしからう、障害地として避けた方がよからうとの事であつたが東京の十五聯合分會長等がこぞつて大丈夫だ責任を持つから通過せよとのことで、私もそれではと通るつもりになる。

松平子爵及び本郷聯隊區副官が先導で、各區分會長は皆乘馬で送り、徒歩の人は區毎に警戒して送つてくれる宮城を遥拜して、誓詞つて成功を期した。時に十月廿五日。品谷の松本樓で聯合分會の歡迎會。東京では第一師團司令部、近衛師團司令部、帝國在郷軍人會本部、警視廳を歴訪し夜は川崎に宿る。

断水

（一）

立々生

断水といふことも短時日ながら私の經驗に入た。尤も時間給水といふことであるのだから断水と言切つて終ふの は少々あたりさわりもあるわけであるが高いところに在る私の家では浸水をまぬがれた代りに文字通り一滴の水も得られぬ日が幾日かあつた。これは案外な苦しみであつた。出水の翌々日であつたかと思ふが、夕方の給水の時刻に水道が激しく鳴り出したが、水の出はわるく鐵管の錆らしい赤濁りした水が、小バケツの底にひた〳〵と溜ただけで飽氣なく止まつた。私はこの水をもて餘した。もちろん使ひ途はなかつたが、さりとて捨てかねた。何かの助けになりさうな氣がした。ちよ〳〵となるとこんなにも執着するのかと顧みて思はざるを得なかつた。

次の日からは完全な断水で時間になつても水道は空鳴りもしなくなつた。水貫ひは思つたより神經にこたへた何とか工夫して水を使ひのばしてはタ方おしつまつてから貰ひに出掛けるといふ風で二日三日とたつて少しは慣れるどころか、次第に氣持の焦みが重くなつて、億劫になる一方であつた。

そういふ幾日かゞ過ぎて或る夕方だしぬけに水の出る音がしてきた。大人も子供も何か言ひさしてそこに走つて行た。まだ本式では、なく、細くなり太くなり喘ぐ樣な水先きであつたが、それでもさし出されたバケツを着實に滿して行つた。私は子供達とホースを圍んでいつまでも立てゐた。いくぶん氣持が靜まるとはなく思ひ泛べられたのはバイドジの一節であつた。それはかうである。

霧の湖

（平）　小磯操

霧ふかく
小暗き森の
うき流れ
靄立ちぬ湖は
靜かに
純色の夢と
たそがれ

磯の音は消ゆ
奥の小寺にとだまして
……峰めぐる
月淡白し

俳句

水禍抄

渡邊何鳴選

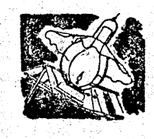
（野蘭會）　遠藤無聲

夏雨の空警鐘はまぎれざる
さわめきて人等往來の足繁し
夏出水刻一刻と増ゆけり
チロ〳〵と敷居に湧けり夏出水
浸水にたゝきの石もかくれたり
急造の箱つみ墨はぎせはし
儘の灰も夏の出水にしめりゐる
押入の片づく間なし衣濡るゝ
床も板いつか浮き上げ夏出水

異人劍法

（第六回）

車谷弘　下山望東書



渦潮（一）

『嘉吉』

とお絹は三味線を放り出して、

『今日はもうやめませう』

『そんな事を仰言らないで、お嬢さん、もう少し稽古をつけておくんなさい。おかげ樣で嵯峨や御室を、漸く呑み込みかけたところですから、ねえ、お嬢さん……』

鍋田の嘉吉は膝の上にもみ手をし乍ら、首をかしげて、

『どうしてもいけませんか』

『あゝ、折角だけど、今日はなんだか、ちよつとも撥が冴えないよ』

とお絹は浮かぬ顔だつた。

下田河岸の船源の離れ廣敷だ船源一家の華やかなりし頃をそのまゝ敷奇をこらした家だつたがお絹は母のお縫と二人ぐらし殘つた乾分もたつた五人の打つて變つた侘しさだつた今となつて見ると、廣い家は廣いだけにかへつて寂しく、徒らにがらんとしてゐた。

父が死ぬと、乾分はみんな散々になつてしまつて、中には太滿一家の盃を貰つた奴さへゐるのに嘉吉達五人だけは、「未だにまめまめしく、お絹母子につかへてゐるのだ。昔に變らぬその眞心を、お絹はしみ〳〵嬉しく想つた。

夏の永い日の所在なさに、お絹は今日も常磐津を、嘉吉にさらつてやつてゐたのであつたが……。

『お頭でも痛むんですか、お嬢さん……』

『いゝえ』

とお絹はさりげなく怪訝そうな眼をそらし乍ら、三味線を片づけるふりをして、

『此頃ちつとも巳之さん、見えないやうだね』

『あゝあの水晶商人……、成程さういへば毎日顔を見せた奴がほんとうにこの二、三日は見えませんねえ』

『嘉吉お前聞かなかつたかい』

『聞かなかつたつて、何をですか』

『先だつて濱田屋の河岸で喧嘩があつたさうぢやアないか、チラツと聞いた噂だから、確かな事は分らないけれど……』

『あゝあれですか、大浦一家の勘太の奴が、何かやつたやうでねえ、どうせつまらねえいこつてせう』

『その喧嘩の相手といふのは、あの巳之さんぢやアないかしら…』

『とんでもねえ、あのおとなしい商人に、喧嘩が出來るもんですか』

『さうだらうねえ、私もさうは思ふんだけど……』

『あの男の事が、お嬢さん、そんなにお氣にかゝるのですか』

『まさか、話だよ』

といきなり顔を紅らめながらあわてゝお絹は顔を背向けた。背向けたその横顔は離れ座敷の庭つゞきに、キラ〳〵と光る河筋を眺めたのである。

すると對岸の松林に今日もいつもの浪人が釣糸をたれてゐるのだつた。黒船が退帆してから下田の水の風景は漸く湖水のやうな靜けさを取戻したひろい川幅のゆるやかな流れの向こに、浪人の釣姿もひどくのんびりして見えるのだつた。

『あのお侍も毎日よく飽きないもんだねえ』

別の話題が見つかつたので、お絹はひとしれずホツとした。

『どれ〳〵』

と嘉吉ものび上つて『あゝ、浪人か、彼奴は黒船騒ぎの時も、平氣で釣をしてゐましたよ。隨分人をくつた野郎でしてね、彼奴ア大浦の岩太郎のその頃からの用心棒なんでさア……』

「貯蓄は無盡で」
社文が設しくらぬうち
撮書やけましう今のうち
三千圓
盡無城磐

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市一丁目

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館　小瀧
電話（小名濱）一〇三番

産科、婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町　電三六九
病室增築、手術室完備

日本油脂
株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料、
一手販賣

㋑磐城水産工業株式會社
小名濱町樂港內　電一四四

耳鼻科
咽喉科
平市鍛屋町　電六五一
醫學博士　增岡醫院
入院應需

新鰹節賣出し
一魚問屋へ
日本生命平代理店
鰹節製造販賣
平市四丁目
志賀盛榮商店
電二一三番

衡量度
リカハ・スマ・シサノモ
計量器
計溫器・計暖寒
販賣所
資生堂
小名濱町一四七
電番

◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並に測量用品◇謄寫板並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森事務用器商會
平市田町銀座街　電二九六番
仙臺振替五一〇番

三笠焼
羊羹
色味自慢
風味萬點
モナカ屋がお茶受御土産として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます
平驛前中央通
米屋最中店

曰腔外科
齒科一般
森合齒科醫院
院長　森合芳男
植田町　電話七一番

▲男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二二七番

産婦人科
外科一般
花柳病科
黑澤醫院
醫學士　黑澤貴
【見習看護婦募集】

漢方貼り薬
湯布で名藥
生公華
肋膜、氣管支關節、神經痛
肺炎、ロイマチス、扁桃腺
炎、ち疾に
平市五丁目角
專賣店　山野邊藥局

痛みある病、熱ある病に…
別府滋藥
別府散
製藥本舗　別府市岩里表參道堂
代理店　阿康藥局
平市古殿淦町　電話四四
振替東京三〇〇五六番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

高級
林檎酒　ミユキ
醸造元　青森縣弘前市
株式會社　御幸商會
福島
茨城販賣元　石井德重商店
久ノ濱町　電話三二番

巴式・長洲風呂
風呂釜
平市紺屋町
電三六六番
大谷建材店

女車掌募集
未經驗者を求む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目　電話六八五番

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
㊗2·00以上
平市中央通り
萬年筆專門店

フタバ磁氣療院
平市中町（公會堂通り）
フタバ印刷所內
電話一九三番

いよ〳〵佐渡行き迫る
期日　來十八日午前六時平驛發、三泊四日
會費　卅八圓五十錢
【此の際至急御參加御申込み願ひます】
申込所　平市三田小路　電話一六七番
一の井方

滿場一致 新市長推薦

殉職扶助料も可決

平市の二代目市長猪瀬乙彦氏を正式推薦する急施市會は既報の如く今八日午後二時四十五分開會、出席議員廿四名、市長選擧に先立ち中平窪の殉職警防團員吉田秀一氏に對する弔慰金並に家族扶助料贈呈案を附議、警防委員會で決定通り弔慰金百圓、扶助料五百圓可決引續き市長選擧案を上提、休憩して協議の結果投票を行はず議長指名で滿場一致市會協議會決定通り拍手裡に單人市長を推薦、正副議長並に伊藤助役が直ちに上京正式承諾を求めることになつた

猪瀬新市長は住宅の關係から單身着任し適當な住宅を見つけ次第家族も引移る豫定

時局下に最適任

『新市長語る』野崎喜八郎氏

野崎喜八郎氏は猪瀬乙彦氏に就いて語る

猪瀬さんは磐中の大先輩として早くから知つてゐた、各方面の本を好く讀んでゐるので非常に常識の發達した方で、座談は巧みで何時間でも相手を眠きさせません、字が上手ですし文も好く書きます、支那に駐在してゐた頃今の汪精衛氏とも親交があり、汪氏の書いたものも相當持つてゐる筈です、滿洲事變の頃要務を帶びて從業員といふ名目で關印地方を備さに調査された事があり、あの邊の事情は特に詳しい筈です、几帳面であり、師恩を忘れぬ方で、先年磐中時代の校長植竹源太郎先生の追悼會を鎌見の總持寺でやつた時なども一切の世話を自分でやつたやうです、健康が問題になつてゐるやうですが中氣になつたことなど全然ありません、廿八貫の巨軀が十七貫になつたのは玄米食や野菜食に依る健康法を實施した結果で、もとは池上の本門寺の坂を上るのに三度もやすまねば登れなかつたのが現在は休まずに登ります、我々は磐中の先輩としての猪瀬さんが平市長としてどうぞ立派にやつてくれるやう念願してやみません、軍人らしい生一本の所もあるから知つてこの點新体制下の市長としてはきつと好いだらうと思ひます

昨七日夜七時より上仁井田最勝院で兩角中將を圍み時局に關する座談會を開催したが參集者二百余名で午後九時盛會裡に散會した

古鍛冶 防空壕完成

平市古鍛冶町第五班第十三隣組では組員全戸の勞力奉仕で第二公園へ防空壕を堀鑿してゐたが漸く完成、七日竣功式を行つた

この防空壕は入口五尺、内周圍十間と云ふ立派な避難所である

水害組合員 特別貸出

農民金庫應急策

平農民金庫では今回の水害受けた組合員に對し次の要項に依つて特別貸出しを行ふことになり案内を發した

貸出一組員一千圓
資格 相當の被害者
利率 年七分
返濟 二ヶ年月賦
保證 信頼出來る方
期間 卅一日まで

時局を忘れたか

小名濱加工業の利己的紛爭

小名濱町の町民を今日の裕福な線迄引導したのは種々原因はあるとしても鰯鯛線の功績最も大で鰯加工業の隆昌なる發展を告げたことにも起因する、然し町民羨望の鰯加工業者が最近三つ巴となり暗鬪を續けてゐることは個人主義排他主義の副産物であると時局柄町民の非難を買つてゐる

即ち小名濱町鰯類製加工業の元祖であり今日の基礎を作り自らは第一線に立つて業者の指導誘引に日なほ足らずと奔走してゐる伊藤三男氏は先般、各業者に呼掛け工業組合設立計畫を進め、發起人も決定し組合員の募集も順調に進みつゝあつた處、間もなく現海産物卸商業組合一派に於て釜持ち業者を中心とした工業組合の設立を企圖し、これも追かけ發起人も決定し設立への一路を慕らに進んできたこの工業組合ですら屋上屋の嫌あるを遺憾として居た折柄、最近又同じ業者間で工業組合設立運動を起し既に發起人も決定し縣への諒解運動もしてゐると云ふ、ここに屋上屋に又屋が出來た事になる、そんなに屋根ばかり必要あらうか、工業組合を作る精神がどこにあるか、近來は女小供でも說明なしに時局の何たるか位は承知してゐる、この人達が澤山の組合を作る事は私の感情であり工業組合を作れば金儲けになるのではない生産物の配給上にも複雜化すのみである寧ろ單一工業組合が理想である加工業者は成金が多いから少し逆上したのでないかと惡口されても辨解の餘地もなからう、果して縣商工課ではどんな裁きをするか注目されてゐる

奉祝通帳 貯蓄組合

庶民金庫乘出す

平庶民金庫では紀元二千六百年奉祝を記念し組合員に對する貯蓄奬勵の建前から一圓積立ての貯金通帳を贈つたが利用するもの案外尠なく一圓積み放しが多數占めてゐる爲、國民貯蓄法第一條第三號に依つて國民貯蓄組合を結成することになつた從つて組合員名儀の貯金は三千圓の外に二ヶ年以上預入する場合に限り五千圓まで利息を免除される特點が設けられてあり、組合員は貯蓄報國の實を擧げるため至急加入を申込まれたいと

兩角中將

座談會も盛況

大浦村鉄後奉公會では

鰹水揚げ

江名へ二万本 平市内は明日配給

江名町中の作澤助右衛門氏所有中型鰹漁船榮福丸は今八日正午ごろ中の作に入港、約二萬尾を水揚げしたが目廻は何れも小さく四百匁程度である、なほ平海産物配給所には明朝ト

商報隊・文協座談會

認識を更めよ

（1）

自由經濟の再現は昔の夢

翼賛商道語る

司會者、忌憚無く商人への不平不滿、御意見等を述べて頂き、商人として是正すべき點は正し翼賛商道を行つて行きたい

文協M、平市内の商人方に皆さんのやうな熱心な方々のあることに意を强うし、感謝してゐる、商人全体に對する自分の考へを述べると、從來のやうな個人主義的な商業概念は絶對的に捨てゝ國民全体に基礎を置く國家的な態勢に移らねばならない、地區商業組合の組織に入るにしても從來の商人根性そのまゝの形から脱出して、商人は今後どうすればよいか深く考へ生活程度もグット切下げて將來を誤らざるやう、特に商組の配給部門についても若い皆さん方が良く考へて、翼賛商業道德と云ふやうな配給部門だけで無し過剩な處はないか、もつと陶汰して行けるとよいのだが、ほんとうに食へず働くまで轉業出來ないのではないか、一方では過剩であり一方では滿足を來してゐる、このバランスをとる爲に商人は自ら考へるべきでせう

商報M、商人の過剩整理問題については地區商組の合理的運營に期待をかけてゐる

文協W、現在商人で轉業などを眞劍に考へてゐるものはあるだらうか

商報V、過般縣商報隊で商人の將來に對する考へを調査したところ轉業を考へてゐないものが殆んど大多數を占め、このままどうにかでやつて行ける、若し轉業するとしても又直ぐに商人に成れるやうな仕事に轉じたい希望を有つてゐるやうだつた

商報M、國家的觀念から替へて行かないとどうにもならぬ

文協W現在は食つて行けるが、將來どう云ふ風に機構が變るか考へないのだらうか

文協M、現在の商人に今一歩進んだ考へを持つことが大切であると思ふ、自由主義的な過去の經濟が再び元へ歸るか？自分には絶對に歸つて來ないと思ふ、利害關係から昔の夢が再び來るやうな錯覺に陷らぬやう自分自身に反省すべきでないか？

商報V、川俣の商報隊で町内の人口調査を行つた、物を不公平無く配給するやう調査もし研究することが必要でせう

文協M、現在の商人にむべき道を拓く融通を見習ふやうにすることが大切

商報V、過般縣商報隊で轉業出來ない者は當然起るでせう

◎出席者

△商報隊、齋藤久益、山崎忠兵衛、中野勇雄、馬目精一、内藤武雄、伊關克己、森川泰一郎、鈴木新右衛門、小川昌、土屋正二、酒井温夫、吉田祐三郎、武田金一、阿部康一、鈴木義忠、鈴木文雄

△文協側、高木稻水、高瀬勝男、大嶺庫、櫛橋敬一郎、渡邊何鳴、增田之、野澤武藏

氣温上昇に備へ 稻熱病殲滅

ボルドー液共同班編成

こゝ數日來の天候回復により氣温もグット上昇、稻作に適したお天氣が續いてゐるが平市農會ではこの際徹底的な病害驅除を行ふべく市内各農事實行組合を單位とした共同ボルドー液散布班を編成、稻熱病大殲滅戰を展開することになつたが現在の病害狀況は稻熱病も極く一部分に發生してゐるが未だ大したことがなく嗟だ二化螟虫が幾分發生してゐる、然しこれも藥劑散布により今後喰止められるからこの天候で行けば平年作以上は保證すると市農會では語つてゐる

涙ぐましい努力の跡

青壯年隊の勤勞奉仕作業

六日間八百五十七名

平市上水道復舊工事に從事した青壯年隊員の活躍は眞に涙ぐましいものがあり全市民感謝の的とされてゐるが市役所教育課振興係りにこの程報告になつた各分隊別の出動人員は次の如く隊の包容數に依つて多少相異あるが田町は流石大分隊だけに一日平均九名を超へ五十六名あり最も小部隊の月見町十七名を最低に平均一日百四十六名に上り何れも公共事業に對する旺盛な熱意が溢れてゐる

◎分隊別出動人員

△長橋、二八△研古二六△紺屋町、三一△田町、五六△一丁目、二九△二丁目、三一△三丁目、三〇△四丁目、三六△五丁目、三四△新川町、三三△材木町、三〇△鍛冶町、三〇△南町、二五△久保町、三〇△胡摩澤、二九△北白銀、二八△仲陽町、三七△鎌田、三〇△立町、二七△堤内、三〇△南白銀、二九△大工町、二三△搖槌小路、三一△蔦城跡、三四△八幡小路、二五△月見町、二七△北目、一七△大町、十五丁目、三三、合計八五七名

◎日別出場人員

△二十九日、百四十名△三十日、百四十名△三十一日、百四十三名△八月一日、百五十五名△二日、百四十七名△三日、百三十四名

この外磐中生七百八十八名、平商生三百五十名の團体勤勞もあつた

復舊急ぎ

補助關係調査

過般の水害に依つて急速に復舊を要する平市關係の災害個所は平から鯨岡へ通ずる『たひら橋』の修理と上水道取入口に至る破壞水路改修工事の二ヶ所で廿三日までに縣費補助の關係から縣へ報告を要するので市土木課で實地調査を進め設計を急ぐことになつた

たひら橋……上流から押流されて來た家屋や草木などのため橋脚二組、芥除杭五組破損橋は危險に瀕して居りこの改修三千圓位の見込、

上水道水路……大瀧取入口の上流水路の決潰は箱樋を急造假水路と爲し辛ふじて通水しつゝあるが本工事を急ぐ必要あり、内の草地内の導入鐵管破壞個所の災害復舊費を合すると一萬圓超へる相當多額の工費を要するものと見られてゐる

農林次官

農耕關係の水害地視察

宮城縣地方の水害地を視察中だつた、農林次官は明九日午後三時十四分常磐線上り平驛着列車で來平、平市並に郡内の水害狀況を視察、同四時四十九分磐越線で郡山に向ふが縣からは高野經濟部長、石田耕地課長が來平、また郡市側から伊藤町村長會長、古川郡農會長並に關係村町長が案内する

中堅勞務者 修養講習會

縣並に産報平支部主催中堅勞務者修養講習會は廿三、廿四の二日間久の濱町波立藥師に開き濱通り産報隊員約四十名が參集、講師は主に工場職長中堅職工さん達の集ひである

塩引配給

小賣卅六錢

明九日午前八時から平海産物配給所で新巻（鹽引）十二貫匁入れ二百十箱の配給あるが値段は公定一ぱいの頭無し小賣十貫匁三十六圓三十錢である

佐渡旅行 水害で延期

十七日平出發

磐城旅行團平支部佐藤陽孝さんが主催する佐渡巡り旅行團は十日から四日間の豫定の處地方の水害關係で參加者が豫定數に達せぬため十七日平出發することに一週間延期した

この團体は十七日午前五時平發磐越線で新潟に向ひ新潟ホテル一泊、十八日朝乘船佐渡相川町越後屋旅館宿泊、第三日目十九日は佐渡から長船佐渡相川町越後屋旅館宿泊、第三日目十九日は佐渡から長

四倉常會

十五日開く

四倉町常會は十五日午後一時より國民校禮法室に開催することになつた爲各區内會長は町常會に提案の協議案を考案中である

中堅青年 錬成會終了

御親閲拜受の中堅年青講習錬成會は平市湯殿山に於て郡市聯合の下に四日より七日迄四日間の日程を終了したが參加青年五十名、眞摯な態度で講師長嶺文信氏外四名の指導を受けた

火災原因

機械の過熱

昨報、平市才槌小路十四日進堂製板工場火災の原因については平署で取調中だつたが製板機械の過熱から木屑に燃え移つたのを知らずに前日午後七時半ごろ仕事を切上げ就寢し遂に火災に至つたものと判明した

勤勞奉仕で 學神祭祀

小名濱第一國民學校では職員生徒の醵金で校庭に學神を祭祖すべく工專中であつたが十五六日には竣功し九月初旬勤請祭を執行する筈である工費約一千圓である

江名信組

ミール機械賣

江名信用組合では過般岸浦日曹工場を買收したが、ミール機械運用には自信がなくなり、ミール機械のみを轉賣すべく希望者を求めてゐる

鰹漁

依然振はず

本縣鰹漁船は不漁と重油節約及び餌關係で現在僅かに二隻のみ出漁その他は何れも船休手入等にて休漁して居り轉機の妥にあるので指導船磐城丸は潮流異變に備へ海洋觀測の爲め出航してゐる

体力管理

未檢査特別執行

平市役所では体力管理の未檢査のものに對し次の日割で特に身体檢査を執行する

△十二日、ツベルクリン注射（清水醫院）

△十四日、身体檢査（同）運動機能檢査（市役所前庭）

導水管護る

川底へトーチカ建設

今度は隣組出役

好間川草の内地内の水道鐵管破壞個所は別項の如く警防團、青壯年隊、學生等の協力勤勞に依つて復舊成り全通水するに至つたが、過般の増水で好間川の同個所は一米五十程堀下げられ現在のまゝでは増水毎に水勢で鐵管を決壞される危險に晒されてゐるため鐵管をコンクリートで塗裝、河底のトーチカを作る必要に迫られ、今七日朝水道委員會を開いて對策を協議の結果、勞力不足を補ふため今度は區内會隣組の出役應援を求めることになり午後四時から市會議事堂に當施區内會長會議を招集、具体案を示して協力を求めた

今度の工事はコンクリート作業が主となつてゐるため全市廿八區から毎日約一名宛計廿名出動、工事は三週間位續く豫定である

中堅勞務者 修養講習會

縣並に産報平支部主催中堅勞務者修養講習會は廿三、廿四の二日間久の濱町波立藥師に開き濱通り産報隊員約四十名が參集、講師は主に工場職長中堅職工さん達の集ひである

塩引配給

小賣卅六錢

明九日午前八時から平海産物配給所で新巻（鹽引）十二貫匁入れ二百十箱の配給あるが値段は公定一ぱいの頭無し小賣十貫匁三十六圓三十錢である

佐渡旅行 水害で延期

十七日平出發

磐城旅行團平支部佐藤陽孝さんが主催する佐渡巡り旅行團は十日から四日間の豫定の處地方の水害關係で參加者が豫定數に達せぬため十七日平出發することに一週間延期した

この團体は十七日午前五時平發磐越線で新潟に向ひ新潟ホテル一泊、十八日朝乘船佐渡相川町越後屋旅館宿泊、第三日目十九日は佐渡から長

四倉常會

十五日開く

四倉町常會は十五日午後一時より國民校禮法室に開催することになつた爲各區内會長は町常會に提案の協議案を考案中である

中堅青年 錬成會終了

御親閲拜受の中堅年青講習錬成會は平市湯殿山に於て郡市聯合の下に四日より七日迄四日間の日程を終了したが參加青年五十名、眞摯な態度で講師長嶺文信氏外四名の指導を受けた

火災原因

機械の過熱

昨報、平市才槌小路十四日進堂製板工場火災の原因については平署で取調中だつたが製板機械の過熱から木屑に燃え移つたのを知らずに前日午後七時半ごろ仕事を切上げ就寢し遂に火災に至つたものと判明した

勤勞奉仕で 學神祭祀

小名濱第一國民學校では職員生徒の醵金で校庭に學神を祭祖すべく工專中であつたが十五六日には竣功し九月初旬勤請祭を執行する筈である工費約一千圓である

江名信組

ミール機械賣

江名信用組合では過般岸浦日曹工場を買收したが、ミール機械運用には自信がなくなり、ミール機械のみを轉賣すべく希望者を求めてゐる

鰹漁

依然振はず

本縣鰹漁船は不漁と重油節約及び餌關係で現在僅かに二隻のみ出漁その他は何れも船休手入等にて休漁して居り轉機の妥にあるので指導船磐城丸は潮流異變に備へ海洋觀測の爲め出航してゐる

体力管理

未檢査特別執行

平市役所では体力管理の未檢査のものに對し次の日割で特に身体檢査を執行する

△十二日、ツベルクリン注射（清水醫院）

△十四日、身体檢査（同）運動機能檢査（市役所前庭）

商況

（八日）

【野菜】小賣値百匁
キウリ 四錢
ナス 四錢
南瓜 五錢
ズイキ 三錢
玉ネギ 四、五錢

【鮮魚】小賣値
メジ 五六、〇
イワシ 八、〇

豫報

今晩 南東の風晴れたり曇つたり一時雨模様
明日 南東の風晴れたり曇つたり
（九日）
滿潮 前四、三五 後一二、三五
干潮 前一一、三五 後六、〇五

謹告

來ル八月十日午後一時ヨリ母校ニ於テ本會總會ヲ開催致候間萬障御繰合ノ上同窓生御勸誘御出席被下度謹告候也

昭和拾六年八月
磐城中學校同窓會長 清水廣政

磐城中學校同窓會員各位

急告

左記の通り第十一回を開きますから萬障お繰合せの上奮つて御出席下さい

一、期日 八月十日午後一時より
一、場所 時間厳守のこと 母校講堂
一、會費 金貳拾錢（當日持參のこと）

平第三國民學校同窓會

同窓生各位

看護婦 數名募集

高柳醫院

醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

内科 小兒科 專門

平市六丁目交番東隣
石坂醫院
醫學士 石坂銓

債券、公債、両替、金融

多田井質店
平市大工町 電話五九一番

公債、債券 質物一般

三井質店
平市四丁目裏通り 電六〇六番
太陽生命 豊國火災 平代理店